

## 第6回英語教育を考えるフォーラム in Okinawa

～沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育の挑戦～

午  
前  
の  
部

### □セミナー：10:00-12:00

セミナー①小学校英語の成果と課題：今後の展開を視野に入れて  
 セミナー②ICTを活用した海外との交流：国際交流の実践と展望  
 セミナー③沖縄21世紀ビジョンが目指す人材像：現状と今後の展望  
 セミナー④英検等を活用した英語力向上：現状と今後の展望  
 セミナー⑤国際機関（JICA・OIST）からのメッセージ  
 特別セミナー国際コミュニケーションマネジメントのすすめ/自動翻訳ソフトを使う革新的英語学習法EdeM

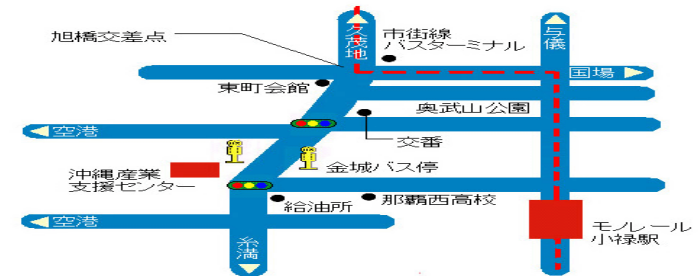
午  
後  
の  
部

### □講演とパネルディスカッション：13:20-17:15

・講演1「世界・アジアの視点から英語教育を考える～英語立県構想に期待すること」本名信行 青山学院大学名誉教授  
 ・講演2「The Importance of English in a Global Society：国際社会における英語教育の重要性」沖縄科学技術大学院大学 副学長 ニール・コールダー氏  
 ・パネルディスカッション「グローバル社会に求められる英語力の育成～沖縄の地域性・優位性を活かして」  
 ○パネラー 上原良幸氏、本名信行氏、小幡俊弘氏、ニール・コールダー氏  
 ○コーディネーター 大城賢氏 琉球大学教育学部教授

◆日時 / 2月15日(土) 10:00～17:15 (9:40受付開始)

◆場所 / 沖縄産業支援センター 1F大ホール&3F会議室 (那覇市小祿1831-1 [TEL:098-859-6234](tel:098-859-6234))



## 沖縄の英語教育を考える会 事務局

★主催 一般社団法人 沖縄の英語教育を考える会 ★共催 琉球新報社 日本英語検定協会

★後援 沖縄県 沖縄県教育委員会、関係市町村教育委員会、沖縄県国際交流・人材育成財団、在沖米国総領事館、沖縄県高等学校PTA連合会

**英語立県沖縄応援事業**  
**第6回英語教育を考えるフォーラム in Okinawa**  
～沖縄の地域性・優位性を生かした英語教育の挑戦～

## 1 趣旨・目的

グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっています。子供達が21世紀を生き抜くためには、国際的共通語としての英語のコミュニケーション能力を身に付けることが不可欠です。しかし、現状を見ていくと、私たち日本人の多くが、英語力が十分でないために、外国人との交流・交渉等において、制限を受けたり、適切な評価が得られていないといった事態が生まれているのも事実です。我が国の英語教育は、これまでも、その効率と効果の点から多くの指摘がなされてきました。小学校からの英語教育（活動）、高校の授業は基本的に英語で行うこと、大学における国際化推進プログラム、民間企業でのツールとしての英語の導入等は変革の兆しを表しています。しかし、これまでと異なった外国語教育の政策等をしっかり策定・実施しなければ、国際社会に取り残されてしまうのではないかという懸念を払拭することはできません。まさに今は「**変革の最後の機会**」と捉えるべきです。「**英語が使える日本人**」を育成することは、子供達の将来のためにも、我が国の一層の発展のためにも重要な課題であるという認識を社会全体で持つべきです。

沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンの具現策として「ベストインザワールド」（世界最高水準）をコンセプトに世界に開かれた最高水準の研究・教育を展開する **OIST**（沖縄科学技術大学院大学）が平成24年9月に恩納村に開学し、世界各国から選ばれた一期生34人が誕生しました。また、幼稚園から中学校までの一貫教育を英語で展開する「**沖縄アミークス**」も平成23年4月にうるま市に開校しました。沖縄県では国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形成が喫緊の課題です。このような背景から生まれたのが「**英語立県沖縄**」構想です。

本フォーラムは「英語立県沖縄」応援事業の一貫として捉え、「**沖縄の地域性・優位性を生かした英語教育の挑戦**」をコンセプトに、それぞれの立場で、それぞれに改善に取り組むことにより、本県の英語教育の改善・充実に資することを目的とします。

## 2 実施・運営

- (1) 期 日 平成26年2月15日（土） 9:00～17:15
- (2) 会 場 沖縄産業支援センター（那覇市字小禄 1831-1 TEL:098-859-6234）
- (3) 主 催 沖縄の英語教育を考える実行委員会（主管：沖英会）
- (4) 共 催 琉球新報社 日本英語検定協会  
（申請中）
- (5) 後 援 沖縄県 沖縄県教育委員会 関係市町村教育委員会 沖縄県国際  
（申請中） 交流・人材育成財団 在沖米国総領事館 沖縄県高等学校 PTA 連  
合会 県内経済関係団体
- (6) 協 賛 旺文社 チェル 日経教育グループ 沖縄県留学振興会 E I L  
（申請中） NPO国際観光支援センター NPO 沖縄語学センター  
ヒューマンアカデミー学園 NPO グローバル・ヒューマン・  
イノベーション協会
- (7) 協 力 O I S T 沖縄アミークス J I C A 沖縄国際センター 沖縄観光  
（申請中） コンベンションビューロー 沖縄通訳案内士会 県内英語教育研究会 英語授  
業力開発フォーラム NPO 沖縄児童英語研究会 日本「アジア英語」学会 The  
Japan Times ST ユニバーサル・コンサルテント  
沖縄テレビ ラジオ沖縄 NHK沖縄放送局
- (8) 内 容
- ①講演1
- 演 題：世界・アジアの視点から英語教育を考える～英語立県沖縄構想に期待すること
- 講 師：本名信行氏（青山学院大学名誉教授）

②講演 2

- 演題：The Importance of English in a Global Society  
(国際社会における英語教育の重要性) \* 逐次通訳を予定
- 講師：Mr.Neil Calder (ニール・コールドー氏) (O I S T 副学長)

③パネルディスカッション

- テーマ：グローバル社会に求められる英語力の育成～沖縄の地域性・優位性を生かして
- パネリスト：学校代表：本名信行氏 (青山学院大学名誉教授)  
行政代表：小幡俊弘氏 (J I C A 沖縄国際センター所長)  
経済界代表：上原良幸氏 (沖縄観光コンベンションビューロー会長)  
外国人代表：ニール・コールドー氏 (O I S T 副学長)
- コーディネーター：大城賢氏 (琉球大学教育学部教授)

④セミナー形式

- セミナー①「小学校英語の成果と課題：今後の展開を視野に入れて」  
\*対象：英語指導者 保護者
- セミナー②「ICT等を活用した海外との交流：国際交流の実践と今後の展望」  
\*対象：英語指導者 保護者
- セミナー③「沖縄21世紀ビジョンが目指す人材像：現状と今後の展望」  
\*対象：保護者 外国語指導者 留学希望者
- セミナー④「英検等を活用した英語力向上：現状と今後の展望」  
\*対象：英語指導者 保護者
- セミナー⑤「国際機関等(O I S T・J I C A)からのメッセージ：Best in the world  
を目指した実践と今後の展望・開発教育/国際理解教育を目指した実践と今後の展望」  
\*対象：保護者 英語指導者
- 特別セミナー「企業・大学・団体等へのメッセージ：国際コミュニケーションマネジメントのすすめ/自動翻訳ソフトを使う革新的英語学習法 EdeM」  
\*対象：企業関係者 大学関係者

(10) 日程

月 日	時 間	内 容	備 考	
2	9:00~10:00	受付・協賛展示		
	10:00~12:00	セミナー (各セミナー会場)		
	12:00~13:00	昼食・協賛展示		
月	13:00~13:15	開会行事		
	13:20~14:20	講演①		
15	14:30~15:30	講演②		
	15:40~17:15	パネルディスカッション		
日 (土)	17:30~19:00	教育懇談会		